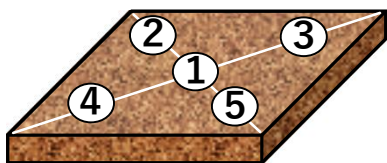


土壌分析用のサンプル採集方法



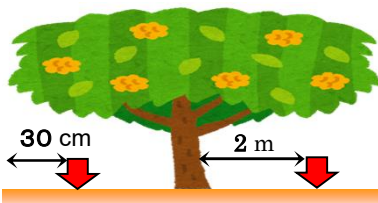
① 土を採る

・畑(施設含む)、水田の場合

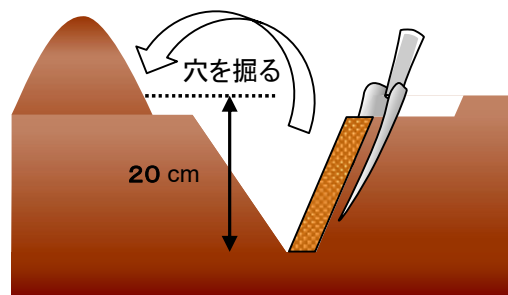


中央と対角線で5カ所分を1つのサンプルとする。

・果樹園の場合(代表的な樹5本程度)



樹冠の先端から30cm内側 または主幹から2m外側の土壌を2～3カ所分を1つのサンプルとする。



表土を1～2cm(果樹は5cm)取り除き、深さ約20cmのV字型に掘ります。穴の斜面に沿って、一定の厚さを掘り採ります。
※採る土に茎や根などの作物残さ、堆肥、肥料などが混ざると分析値が狂います。取り除いてください。

② 土を乾かす



採取土壌を細かくほぐし、新聞紙の上に薄く広げ、雨に濡れない風通しのよい所で約1週間乾燥させます。
※湿った土では分析できません。

③ 調整



小石や根などを取り除いた後、ビンなどで転がし細かく碎きます。ふるい、もしくは二重にしたネットにかけるとし、2mm以下の土を集めます。

④ 分析申し込み



約300g(お茶碗1杯程度)の土をビニール袋に入れ、袋に名前、畑名を記入してください。申請書に必要事項を記入し、土と一緒に提出してください。
※申請書はビニール袋の中に入れないでください。

☒ 受付・お問合せ窓口

◆ 農業改良普及課

沖縄県北部合同庁舎 1階 ☎0980-52-2752
担当: 新里・吉平・幸地

◆ 各市町村役場農業関係窓口

注) 万が一想定を超える点数に達した場合には、点数を制限する場合がありますのでご了承ください。